

No. 2016-102

発行:2016年10月28日

^{ダンロップ} 「DUNLOP 全国タイヤ安全点検」点検結果を報告

住友ゴム工業(株)(社長:池田育嗣)は、タイヤに起因する事故の未然防止を目的として、10月8日(土)に43都道府県45会場^{*}で「DUNLOP 全国タイヤ安全点検」を実施しました。今回の点検では、燃費の悪化、走行性能の低下、偏摩耗の原因となる「空気圧の過不足」が最も多く確認されました。

^{*}雨天により4県5会場での点検を中止

DUNLOPでは、2008年10月から年2回、タイヤ点検と安全啓発活動を全国の道の駅やショッピングセンターなどで開催しており、今回で16回目の実施となります。タイヤ点検ではタイヤに起因する事故の未然防止を目的に、装着されているタイヤの空気圧、残溝、タイヤ表面の損傷などの点検を行うとともに、タイヤの安全で正しい使用・管理方法について紹介する冊子を配布するなど、ドライバーの皆様にはタイヤの日常点検の重要性を訴求しています。

今回の活動では45会場で4,159台のタイヤ点検を実施した結果、タイヤの整備不良率は全点検台数の40.5%で、その内容は(重複含む)空気圧の過不足が25.2%と最も多く、続いて残溝不足が12.7%、タイヤ表面の損傷が6.6%、偏摩耗が6.1%という結果でした。なお今回の活動により、これまでの累計点検台数は80,000台を超えました。

DUNLOPでは、今後もドライバーの皆様にはタイヤの安全で正しい使用方法や管理方法などをお伝えしていきます。



タイヤ点検活動の様子
(埼玉県 道の駅 アグリパークゆめすぎと)

以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>
タイヤお客様相談室 TEL:0120-39-2788